

将来の船員確保・育成のために 就業体験を実施



沖縄海事産業人材確保・育成推進協議会(事務局:沖縄総合事務局運輸部)は、若年内航船員の人材確保・育成のため、就職選択段階の高校生、進路選択段階の中学生、各段階に応じたバリエーションのある取組を行っております。



就業体験(始業ミーティング)



就業体験(荷役作業)

就業体験後のアンケートでは、内航海運の仕事に対して89%の生徒が「仕事に対する興味や理解度が高まってきた」と回答しました。また、「就業体験を通じて、船員の仕事内容や責任の大ささを実感することができた」という意見も多かったようです。

四面を海に囲まれた我が国において、船舶による海上輸送は、国民生活及び経済活動並びに観光振興等に欠かせないものとなっている中、今後の安定的な海上輸送を確保するため、海上輸送を担う船員の安定した確保と育成が必要不可欠です。特に船員供給源が国内に限定されている内航海運の年齢構成を見ると50歳以上の割合が5割程度と高い状況になってしまい、数年後には船員不足が生じると予測され、海上輸送を維持・発展させていくためには、若年内航船員の確保と育成が喫緊の課題となっています。

沖縄県においても全国と同様な傾向があることから、沖縄海事産業人材確保・育成推進協議会では、内航船員の実態やその魅力を体験させ、近い将来、船員への就職等を促すこと

を目的として、沖縄県内及び沖縄航路を運航する海運事業者の協力の下、マスク着用や体調管理等の新型コロナウイルス感染症予防に努めながら、7月29日～8月1日に沖縄水産高校の生徒を対象に船員の就業体験(インターンシップ)を実施しました。

今回の就業体験は、ニューフェリーあぐに、フェリーギャラクシー、フェリーとかしき、フェリー海邦、だいとう、泡瀬丸に、27名(当口欠席1名を含む)の2年生が、それぞれ約3日間乗船しました。出入港作業、航海中の船内巡視の他、貨物等の受付、積込み、乗船客の案内、客室掃除等、実際の船員の仕事を体験したことは、生徒達にとって有意義な経験となつたようです。

お問い合わせ先
運輸部 船舶船員課
☎ 098-866-1838

事に魅力を感じた」、59%が「将来の進路選考に大変参考となった。」、59%が「今後の学生生活及び学習に大きく影響する。」と回答しました。これを裏付けるように教師から「体験した生徒がより前向きに学習するようになつた。」という声もあり、若年船員の確保・育成に大いに効果が期待できます。



就業体験(出港準備)



就業体験(航海機器の説明)